

年 組 番 氏名

I. 少子高齢化について考えよう

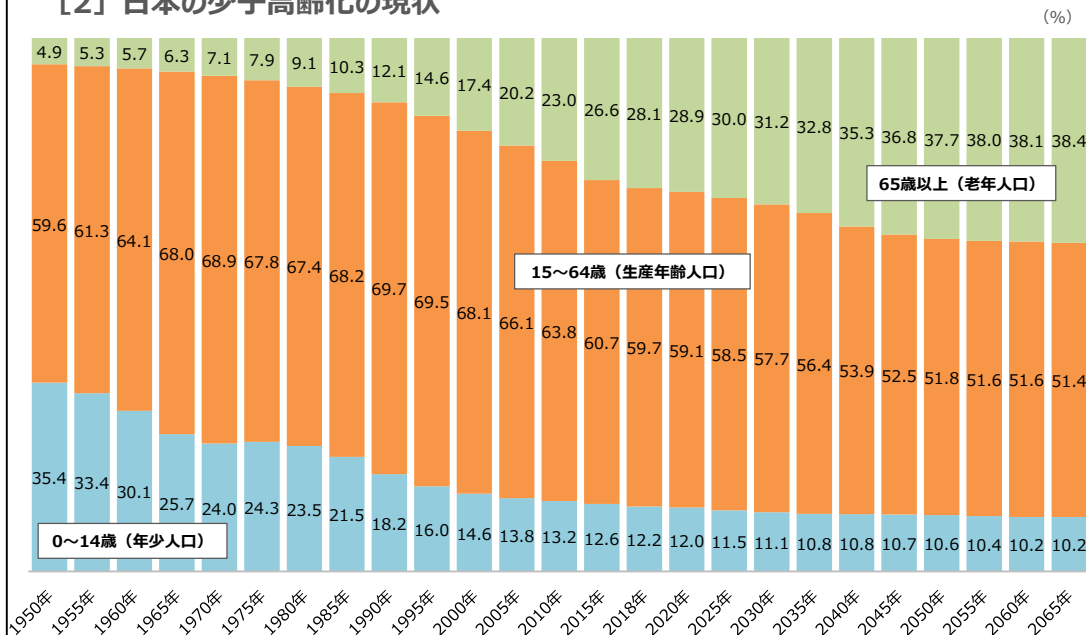
[1] 日本の高齢化率は何%？

【問題】2018年の日本の高齢者（65歳以上）は全体の人口の何%でしょう？

 %

*内閣府「高齢社会白書（概要版）」（令和元年）

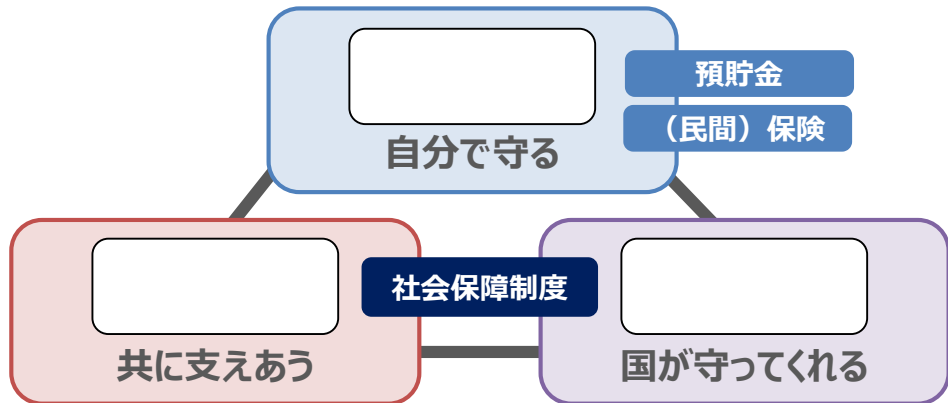
[2] 日本の少子高齢化の現状



※内閣府「高齢社会白書（概要版）」（令和元年）を基に生命保険文化センターにて作成

II. 社会保障制度について

[1] 自分の身を守るために



[2] 「社会保障制度」とは

社会保障制度

社会
保険

病気・老後・介護・失業などの場合に国が一定の給付を行う制度(公的医療保険、公的年金保険、公的介護保険 等)

社会
福祉

障がい者や母子・父子家庭などに対して公的な支援を行う制度(児童福祉、高齢者福祉 等)

公的
扶助

生活に困窮する国民に対して最低限の生活を保障し、自立を助けようとする制度(生活保護 等)

公衆
衛生

国民が健康に生活できるよう様々な事項についての予防、衛生のための制度(予防接種 等)

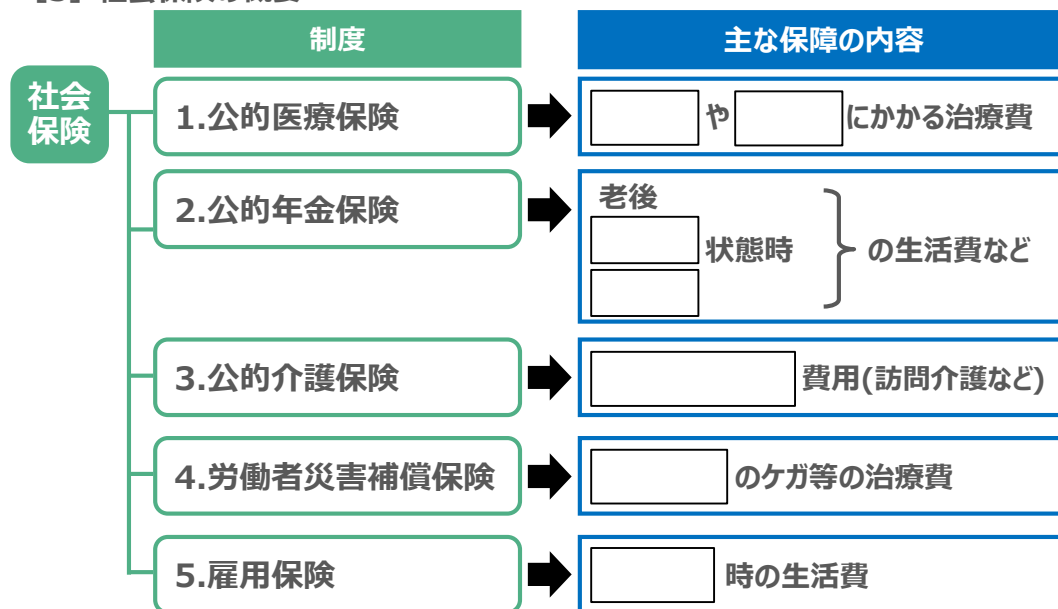
共助

で運営

公助

で運営

[3] 社会保険の概要



[4] 困ったときに受けられる「社会保険」を考えてみよう

状況	制度
定年退職して老後の収入が無くなった	公的医療保険
会社が倒産し、失業した	公的年金保険
介護が必要な状態になった	公的介護保険
一家の働き手が交通事故で亡くなった	労働者災害補償保険
病気で入院した	雇用保険
社員が仕事でケガをした	

Ⅲ. 自助って何？

【1】もしも骨折してしまったら

友人とスノーボードをしていて、足を骨折した場合、いくらかかるでしょうか。

※手術を行い、22日入院

－ 必要となるお金		＋ 入ってくるお金	
医療費等	約176万円	公的保障 (公的医療保険)	約164万円
その他	約8万円		
合計	約184万円	合計	約164万円

*生命保険文化センター「医療保障ガイド」(2018年8月改訂版)

【2】もしも亡くなってしまったら

Bさんは今年45歳。妻(42歳)はパート勤務で、長女(10歳)・長男(8歳)がいます。

もしBさんが亡くなってしまった場合、遺族の生活費や教育費などこれから必要になるお金はいくらでしょうか。

－ 必要となるお金		＋ 入ってくるお金	
遺族の生活費(48年間)	約9,460万円	公的保障(遺族年金等)	約6,310万円
子どもの教育費(2人分)	約2,180万円	企業保障(死亡退職金)	約400万円
その他(住居費・葬儀費用)	約1,670万円	その他(妻の収入)	約2,340万円
合計	約1億3,310万円	合計	約9,050万円

*生命保険文化センター「遺族保障ガイド」(2019年6月改訂版)

【3】預貯金と保険

	預貯金	保険
特徴	<input type="text"/> 目的のために貯める	<input type="text"/> の損失に備える

【4】生命保険と損害保険

	生命保険	損害保険
対象	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受取額	あらかじめ約束した金額(定額保障)	事故により発生した損害額(実損填補) ^{てんぽ}
備えられるリスク	●万が一(死亡) ●病気・ケガ ●老後 ●介護 など	●交通事故 ●火事 ●台風や地震 など

Ⅳ. 自助・共助・公助について考えよう

一番大切だと思うものの()に○をいれよう。



・そう考える理由は？

Ⅴ. まとめ

- ① における のあり方について考えていくことが大切。
- ② 自分の身を守るために、 がある。
- ③ 自分で備える手段である「自助」として、 や があり、それぞれの特徴をよく理解し、使い分けることが大切。
- ④ 持続可能な社会保障制度を維持するために、社会における の適切な組み合わせについて考えていきましょう。

memo
